

# 「酒田市下水道事業経営戦略 改定版（案）」への パブリックコメント（意見公募）の結果について

## 1 結果概要

- (1) 募集期間 令和2年2月18日（火）から 令和2年3月9日（月）まで
- (2) 募集結果 意見提出者1名（電子メール）、意見総数3件

## 2 寄せられたご意見と本市の考え方

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>農業集落排水処理場の大幅な統合計画があるようですが、集約すればするだけ、災害発生時の機能維持力は失われるのではないかと心配です。つまり、既存の施設をなくし管路でつなぐわけですから、破断の恐れが高くなるのではないかと心配です。</p> <p>また、つなぎ込みのための初期建設費用と、維持費との比較した利点と、失う安心安全とを比べた場合、それでも統合すべきなのでしょうか。</p>	<p>災害時のリスクは管路だけではなく、電気設備を多く抱える処理場でも同様にあると考えます。管路の整備では、大規模な地震動に備えた耐震計算等を実施しており、それは今後の統合においても同様です。</p> <p>今後、処理場は日常の維持費だけではなく、老朽化に伴い多額の更新費用が生じることが見込まれます。その費用は施設をご利用いただく市民の皆様からの「使用料」が財源です。まずは統合により経費の削減に努め、人口減少が進む将来においても、市民の皆様のご負担を少しでも軽減できるよう取り組んでまいります。</p>
2	<p>地元企業の育成が、地域の安全にとって有益に貢献できる要素になると思います。DBO、PFIなどの採用による大手資本への偏重になるように思えてなりません。代替業務など地元企業に対する配慮策はどのようなお考えでしょうか？</p>	<p>DBO、PFIは地元企業でも実施が可能と考えております。従来の処理場等の維持管理だけではなく、更なる効率化のため、維持管理と施設更新とを一体的に行う業務の提案等は地元企業からも頂戴しております。</p> <p>また、前述の統合における管路整備とその後の維持管理については、処理場の更新に代わるものであり、下水道等の整備が概成した本市においては、地元企業の活性化という面でも有効と考えております。</p>

No.	ご意見	本市の考え方
3	<p>管路について</p> <p>管路の老朽化が著しく、今後は深刻な課題になることが考えられます。今回の計画には、明確なビジョンがよくわかりませんが、どのようにお考えでしょうか？</p>	<p>本市では、TV カメラ等により管路の点検・調査を行い、不具合がある箇所は修繕や改築により速やかに対応しています。</p> <p>管路の維持管理費も財源は使用料です。限られた予算で効率的に管理するために、まずは「スクリーニング技術」(本文 P. 29)で従来よりも経済的に点検・調査を行うとともに、前述の統合により、これまで処理場に要していた費用の削減に努め、その分を老朽化した管路の維持管理に充てていきたいと考えております。</p> <p>今後も、道路陥没等を発生させないよう予防保全による施設管理に努めてまいります。</p>